

理学相通信

2019年度理学系学生相談室通信 vol.3

理学系学生相談室です！

夏が終わり、秋学期が始まりました。
皆さんの周りには、ゼミが始まった方、
学位論文を執筆している方など、
成果を出すために頑張っている方が
いらっしゃるのではないのでしょうか。

今回のぷちっと心理学では、
成果を出すために頑張っている方に、
周囲ができるサポートについて
ご紹介します。



ぷちっと心理学 ピグマリオン効果

周囲の期待が重要！

教育心理学者のローゼンタールによると、人間は期待された通りに結果を出すとされています。つまり、「期待をこめた言動で相手に接していると、その相手は期待に応じて成果を出す」傾向があるのです。

逆に、期待が低いものであったり、ネガティブな期待を持っていると、成果が出しにくくなるというゴーレム効果もあり、いかに**周囲の接し方が重要**かがわかるかと思います。

お互いに期待し合えるような関係を作る

周囲からの期待も重要ですが、そのためには自分が周囲に期待することも重要です。周囲に期待をすることで、周囲からの期待が返ってきやすくなるからです(返報性の原理)。そのため、**お互いに期待し合える関係**を作っていきましょう。

自分のことだけではなく、自分周りにうまくいていない方がいる...という場合にも、ぜひ相談室を利用してくださいね。

誰かに話を聞いてほしい、と思ったときは

電話(052-747-6709)または

メール(soudan@sci.nagoya-u.ac.jp)で連絡をください◎

QRコードからメール→

